

おかざきDXビジョンに基づく令和4年度の実証実験について



基本方針 「デジタルで便利になる市役所」

行政窓口におけるキャッシュレス決済に関する実証実験

8月下旬～11月下旬実施予定

- 行政窓口における手数料・使用料の支払いに「キャッシュレス決済」を試験的に導入し、利用傾向等を調査する。
- 大平支所（各種証明書交付手数料）、図書館交流プラザ（施設使用料等）、動物総合センター（狂犬病予防接種手数料・犬の登録手数料）で実施予定。
- 利用傾向等を分析し、本格導入の優先度を検討する。

証明書オンライン交付サービスの導入

10月頃導入予定

- 課税証明・納税証明・所得証明の交付をスマートフォンから申請できるサービスを導入。
- マイナンバーカードで本人を認証し、クレジットカードで手数料の決済を行う。
- これまでの対面もしくは定額小為替を同封した郵送申請から、自宅から申請できるようになる。

基本方針 「デジタルでスマートになる行政」

デジタル化に向けた業務改善の推進

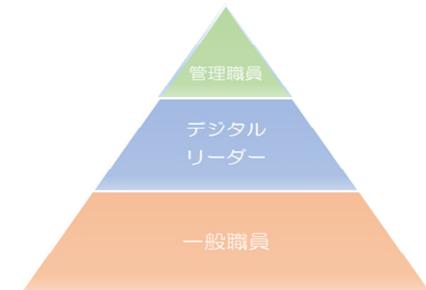
7月に事業者決定、業務着手開始

- 保育業務について、デジタル化を見据えた業務改善に取り組む。
- 現行業務の分析、課題の抽出や改善策について、民間事業者から提案してもらう。
- 保育業務における市民の利便性向上に向けた方策（利用しやすいオンライン申請、保護者からの欠席連絡等の手段の改善等）及び保育課の業務負担軽減につながる方策（保育所入所業務、保育所と保育課の連絡手段の改善等）について検討する。
- 提案された業務改善手法を、今後、保育業務以外の業務へ横展開していく予定。

デジタル人材の育成

**6月にデジタルリーダー選任済、
オンライン研修スタート**

- デジタル化推進の中心的役割を担う「デジタルリーダー」を各課にて選任。（63名）
- デジタルリーダーは、オンライン研修やワークショップを通じ、デジタル技術に関する知識や業務改善手法を学ぶ。
- デジタルリーダー以外の一般職員に対し、デジタルリテラシー（デジタル技術に関する基礎知識）向上に向けた研修を実施（地方公共団体情報システム機構提供の動画研修を活用 / 対象者1,141名）。
- 管理職に対し、秋頃、研修を実施予定。
- デジタル庁へ職員を研修派遣（1名・2年間）し、省庁出身者・自治体出身者・民間出身者など様々な職員で構成されているデジタル庁での業務を通じて見識・知見を広げ、デジタル人材としての成長を期待。



基本方針 「デジタルを活かせる地域社会」

高齢者向けスマートフォン講習会の実施

7月～2月に順次開催

- スマートフォンの操作に不慣れな高齢者向けに操作講習会を実施。
- 各地域交流センターなど各地域で参加者を募集する形式と、今後の町内会活動に役立てることを目指し、町内会単位で各町公民館で開催する形式の2本立てで実施。
- 1回2時間程度の講習を約40回程度実施予定。

町内会活動のデジタル化を支援

モデル町内会選定中

- 町内会活動へのデジタル活用に向けた「モデル町内会」の選定について、選定希望調査のアンケートを556町内会を対象に実施した結果、84町内会で選定希望あり。
- 84町内会に対して個別に状況を確認したうえで、5町内会程度をモデル町内会に選定予定。
- モデル町内会では、町内会役員間でのコミュニケーション、町内住民への情報共有（電子回覧板）などのツールを試行導入予定。

先進的技術による地域の課題解決に向けて

可能性調査実施中

- 市域周辺部の住宅団地において、買い物・医療へのアクセスを中心とする“暮らしの移動”について、地域での自主的な解決策試行に寄り添い、MaaSなどの移動サービス導入に向けた可能性調査を行っている。
- 可能性調査にあたっては、地域の主体性を尊重しつつ、民間企業と市が連携して取り組みを支援している。